

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第 20 回幹事会議事要旨

- 1 日時：令和 4 年 4 月 11 日（月） 10 時 00 分～10 時 40 分
- 2 場所：オンライン（Web 会議システム Zoom）
- 3 出席者：林（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、岡島、石濱
陪席者：田代（防災科学技術研究所）、斉藤（筑波大学）、高野（〃）、栗原（〃）、根本（〃）
(敬称略)

4 議事

議事に先立ち、筑波大学の事務担当者が秋葉一能氏から栗原宏太氏に交代となった旨の説明があり、新任の栗原氏より挨拶があった。

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

(1) 令和 4 年度幹事会委員について

遠藤副会長から、資料 1 に基づき、石濱委員の筑波大学における所属が変更となった旨の報告があり、石濱委員より挨拶があった。

(2) 令和 4 年度年間活動計画について

遠藤副会長から、資料 2 に基づき、前回運営委員会で承認された令和 4 年度年間活動計画について、一部計画を追加・修正する旨の説明があり、次のとおり承認された。

(追加分)

- 第 5 回総会：令和 4 年 5 月 10 日（火）13：30～15：00 オンライン開催
- 第 21 回幹事会：令和 4 年 7 月 19 日（火）10：00～11：00 オンライン開催
- Joint Seminar 減災との第 3 回共同シンポジウム：令和 5 年 2 月（日時・場所未定）

(修正分)

- 各参画機関と筑波大学の意見交換：令和 4 年 5 月～7 月

また、「第 1 回ピッチ会（仮称）」に関して意見交換が行われ、議論の結果、第 5 回総会で趣旨説明を行った上で、各参画機関と筑波大学の意見交換会の際に、各機関のピッチ会への参加の意向について確認することとなった。

(3) 参画機関との意見交換の実施について

遠藤副会長から、資料 3 に基づき、5 月～7 月頃実施予定の参画機関と筑波大学の意見交換会について、趣旨説明があった。議論の結果、資料 3 の意見交換事項に「ピッチ会に期待すること」の項目を追記することとなった。

(4) 令和 4 年度参画機関におけるインターンシップについて

遠藤副会長から、資料 4 に基づき、今年度リスク・レジリエンス工学学位プログラムの学生のイン

ターンシップを受け入れる予定の参画機関について報告があった。続いて、岡島委員から、学生にとって「インターンシップ」という言葉が、就職活動に直結するインターンシップを想像させるものとなっており、本来の趣旨が伝わりにくくなっているとの問題提起があり、林会長・甘利副会長から、インターンシップに代わる言葉として「Cadet」や「Job Shadowing」という言葉が提案された。

(5) その他

特になし。

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

(1) コンソーシアム参画機関からの令和4年度入学者について

岡島委員から、資料5に基づき、今年度は参画機関所属（現職）の入学者はいなかったものの、防災科学技術研究所と繋がりのある社会人学生1名が博士後期課程に入学したとの報告があった。

(2) 令和4年度春学期における対面授業及びオンライン授業の実施について

岡島委員から、資料6-1～6-2に基づき、今年度春学期の授業は、科目の特性や受講生の要望等に応じて対面またはオンラインで実施予定との報告があった。また、協働大学院教員及び参画機関の非常勤講師が担当する授業については、世話人教員との相談のもと授業形態を決定している旨の補足説明があった。今年度春学期は、オンライン実施予定の授業がやや多いとのことである。

(3) その他

甘利副会長から、学位プログラムで実施する「リスク工学研究会（RERM）」の録画を参画機関でも視聴できるようにしてはどうかとの提案があり、録画の限定公開方法について検討することとなった。

以上